

大変な体勢で人形を動かす、足踊り

4月14日、市指定無形民俗文化財の「南田島の足踊り」が氷川神社(南田島)で行われました。この足踊りは、あおむけに寝て、足におかめとひょっとこの面を付け、手に着物の袖を通して、手と足の動きでそれぞれを演じ分けます。踊りの最中は、足と手は上げたまま。腰と頭には座布団を敷いていますが、かなりの重労働です。「腰が頭より上の位置になり、長時間足を上げているのが大変です」と演者の1人、^{かなざわ ぼくと}金澤北斗さん(中学1年生)。

当日は、地域の子どもたち15人が、お囃子や踊りに参加しました。子どもたちは、毎週土曜日に練習をしています。「子どもの送り迎えに来ている保護者の方に保存会へ参加してもらえないか声を掛けたことで、参加してくれる人がいます」と南田島囃子連足踊り保存会・^{ほそ の みのろ}細野稔会長、後継者への継承に力を入れています。

踊りのストーリーは、囃子の音に乗って、おかめが先に登場し、ひょっとこが出てきて一目ぼれ、二人の掛け合いのうち、いい仲間になるというもの。「基本の踊りはありますが、所々自分で考えた動きを入れていきます。それを考えるのが難しいです」ともう1人の演者、^{はしもと ゆう たろう}橋本優太朗さん(中学3年生)。



踊りが終わると、大きな拍手を浴びていました。



子どもたちが囃子を演奏する中、2人が踊りを披露していますが...



ついたての裏側では、大変な体勢で人形を動かしています

ひとまち

ふおとニュース

ひとまち

桜と、山車と、獅子舞と

市指定無形民俗文化財「石田の獅子舞」が、4月7日に藤宮神社(石田)で行われました。

腰を低くし、農作物を干すような動作で舞うことから「干し物獅子」とも呼ばれています。「腰を低くして舞うのが大変ですが、伝統を絶やさないように、続けていきたいです」と、獅子役の^{すず きみひでゆき}鈴木秀幸さん。3つある獅子頭は、小学生でも参加できるよう、あえて子供用に小さく作られているそうです。訪れた皆さんは、桜と山車と獅子の競演に見入っていました。



桜と山車をバックに舞を披露



防犯・暴力排除を呼び掛け

川越市防犯のまちづくり重点地域であるクリアモール周辺地域では、自治会や商店会をはじめ、関係団体が防犯活動を行っています。その一環として、4月19日に「防犯・暴力排除キャンペーン」が行われました。川越市自治会連合会第六支会では、一日交番テントをクリアパークに設けました。「約20年前から支会で一日交番テントを設け、自主的に活動をしています。このキャンペーンには、毎年参加しています」と同支会長の^{たか へいし としあき}高橋敏明さん。約70人の関係団体の皆さんが、啓発品を渡しなが



一日交番を設けた第六支会の皆さん



啓発品を渡す皆さん

70人の関係団体の皆さんが、啓発品を渡しなが、ひたくりや自転車盗難、振り込め詐欺被害の防止を呼び掛けました。